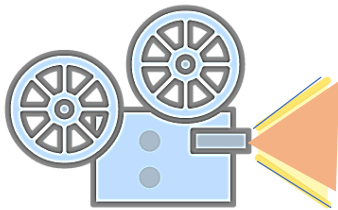


# 大更コミセン映画上映会

特別企画  
真夏の



令和8年 8月7日(金)  
は映画三昧の日  
3本立て一挙上映(入場無料)

1本目

## 「遥かなる甲子園」

出演:三浦友和、植木等、田中美佐子、小川真由美、柄本明

上映時間:10:00~11:55(100分)

1990年公開の実話をもとにした青春ドラマです。沖縄の「北城ろう学校」に通う生徒・敏夫は中学時代、甲子園に高校野球を観戦しに行った時、大きな感動を体験した。熱闘の中で、聞こえないはずの音を感じたのだ。僕も野球をやりたい。その思いを受け止めた教師と校長は、周囲の反対にあいながらも、ろう学校に野球部を作ろうと動き出します。しかし、野球憲章では「ろう学校」は高野連に加盟できない決まりがあり、公式に甲子園を目指すことすら許されていませんでした。



2本目

## 手塚治虫物語「ぼくは孫悟空」

制作:手塚プロダクション

上映時間:13:00~14:30(80分)

時は昭和17年。関西の実家に、虫が大好きな少年がいた。その少年・手塚治虫は、親に連れて行ってもらった中国の漫画映画「西遊記・鉄扇公主の巻」を見てアニメーションを中心に魅せられるエピソードを通して、アニメ作家となっていくまでの過程を孫悟空の姿を通して自伝的に描いている。『24時間テレビ愛は地球を救う』のスペシャルアニメ第12段です。この作品の構想中に手塚治虫が急逝したため遺作のひとつとなりました。



3本目

## アニメ「木を植えた男」

原作:ジャン・シオノ

特徴:色鉛筆やパステルを用いた淡いタッチで、1枚ずつ手書きで制作された

ナレーション:三國 連太郎

上映時間:14:40~15:10(30分)

南フランスの荒れ果てた不毛の山岳地帯に迷い込んだ「私」は寡黙な羊飼いと出会う。彼は、亡くした家族の代わりに、たった一人でドングリを植え、森を作る夢を追っていた。二つの大戦さえも乗り越え、何十年の間、黙々と木を植えた結果、かつて荒れ果てていたベルゴン村は、豊かにそして活気づく1万人以上の町へと変貌していた。



----- きりとり線(FAXの方は切り取らずにご送信ください) -----

## 映画上映会申込書

行政区		氏名	
連絡先			
ご鑑賞希望作品に○印を	・1本目	・2本目	・3本目